

9月決算審査



9月定例会最終日に撮影

多彩な新型コロナ対策事業で 予防と経済振興の両立を目指す

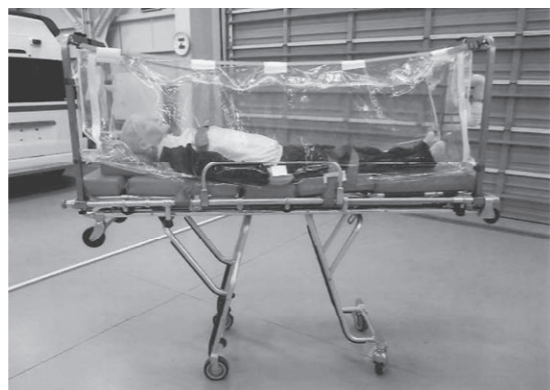


消防署が購入予定のオゾン発生器



主な新型コロナウイルス感染症対策事業

- 1 避難所や福祉避難所の、感染症防止資機材の購入
- 2 保育園、子ども園、幼稚園、小中学校で地場産品を給食で提供するための購入費
- 3 インフルエンザ予防接種の補助の拡充
- 4 新しい生活様式を取り入れるためのリフォーム工事に対する補助
- 5 市内の空き店舗や空き家を活用したテレワークを推進するためのシェアオフィスやサテライトオフィスの整備の補助
- 6 消防隊員の感染防止資機材購入
- 7 小中高等学校の修学旅行がキャンセルになった場合の補助
- 8 観光振興による経済支援のため日本遺産推進協議会への活動補助



患者を安全に搬送するためのアイソレーター

予補正 新型コロナウイルス 感染症対策

一般会計補正予算の中で、新型コロナウイルス感染症対策として1億1467万円の国の交付金が計上されており、その使途について質問がありました。

交付金の目的は、感染症防止活動や地域経済の活性化とされています。具体的には、左の表のようなことに使用されます。

予補正 住宅リフォーム補助金

一般会計補正予算の商工費では、住宅リフォーム補助金の対象について質問がありました。

これはコロナ関係予算のうち、新しい生活様式に係る住宅リフォームに対する補助金で、内装・外装、取り付け、住宅の設備工事、バリアフリー化、外構工事や造園工事など、通常考えられるリフォーム工事はおおむね網羅されています。

委員からの、補助内容はどうかとの問いには、20万円以上の工事が対象で補助率は10分の1、上限は30万円であるとの答弁がありました。

予補正 日本遺産を活用した観光

誘客多角化事業委託料2000万円は、観光庁の補助金で、全額が国からの支出。新しい旅行のスタイルを提案するという事業で、ANA総合研究所に委託するための予算です。

同じく観光関連では、日本遺産推進協議会補助金1800万



観光客でにぎわう吹屋

決算 学園文化都市づくり

毎年、高梁市は順正学園に対して高梁市私立学校入学奨励金、順正学園広報費補助金を交付しています。令和元年度決算でも、合計1億円を補助しているため、その内容の精査、今後の負担のあり方について質疑がかわされました。

特に広報費については、パンフレットやCM製作、学校訪問のための経費約1億8000万円のうち5000万円を助成し

9月定例会は、市長・市議会議員選挙の関係で8月20日から9月8日まで開催されました。毎年度9月の定例会では前年度の決算審査が行われます。今年も本会議と委員会で、所管する分野の決算を審査しました。高梁市の財政は年々厳しさを増している状態です。私たちの税金が正しく使われているかどうかについて、さまざまな質疑が行われるとともに、今年度の追加予算も審議されました。



元アニメスタジオ

商店街の空き店舗を活用して整備されたアニメスタジオの運営費助成については、運営会社が解散してしまったため、現状と、今後の市としての関わり方について質問がありました。

これに対しては、アニメスタジオの基本的な財産は吉備ケイブルテレビが引き継いでおり、市も会社も、アニメスタジオの活用に向けて情報収集や業界への働きかけを行っているとの答弁がありました。

議案 一般 高梁市伊藤こども図書 基金条例

令和2年7月17日、高梁市は京セラ株式会社元会長の伊藤謙介氏から京セラ株3万株の贈呈

を受けました。その収益を活用するために新たな基金条例制定の提案があり、その具体的内容について質問がありました。

基金は小中学校の図書購入費や読書活動に充てられ、また、収益の使途を明確にするために基金条例を制定します。この基金を活用することで、小中学校の図書購入費に更に乗せて図書の充実を図ることができるとの答弁がありました。



成羽中学校図書室の伊藤文庫

円が交付される日本遺産推進協議会についての質問がありました。この団体は、商工団体、通関係機関、文化財保護組織、まちづくり団体等のメンバー11名で構成され、文化庁から交付される3年間で総額約8400万円の予算で取り組みます。補助金は基本的には協議会に直接交付されることになるため、事業は協議会で実施されることとなります。どのような事業を行ったかは報告されます。